



「スポーツニュース」の
ダウンロードはこちらから

2026年3月2日発行



スノーボード男子ハーフパイプ
決勝、戸塚優斗選手の3回目



フィギュアスケート女子フリーの
演技を終えた中井亜美選手

経費、環境考慮で 4会場に

大会は8競技116種目が行われ、90以上の国と地域から約2900人が参加した。四つの会場群で実施。経費削減や環境負荷を考慮して初の広域開催に。持続可能な大会として注目された一方、選手にとっては会場が分散したことで五輪特有の雰囲気を感じにくかったようだ。

日本若手台頭、 スノボ新時代メダル9個

日本は24個金5、銀7、銅12のメダルを獲得し、冬季で最も多かった前回北京五輪を上回った。金は過去最多だった1998年長野五輪に並んだ。スノーボードでは金4個を含む9個のメダルを重ねた。フィギュアスケート・ペアでは、三浦璃来、木原龍一選手組が金メダルを獲得。ペア日本勢の表彰台は初めて。

ミラノ・コルティナ五輪開催

にほんかこさいこう

こかくとく

日本は過去最高のメダル24個獲得

イタリア北部の複数都市で分散開催されたミラノ・コルティナ冬季五輪は19日間の熱戦を終え、2月22日に閉幕した。国際オリンピック委員会（IOC）のコーントリイ会長が閉会を宣言し、ミラノとコルティナダンペッツォの2カ所に置かれた聖火が消えた。



ミラノの開会式で入場行進する日本選手団



フィギュアスケートペア・フリーで演技する
三浦璃来選手、木原龍一選手組

1 金メダル



木村実来選手（スノーボード男子ビッグエア）



深田茉莉選手（スノーボード女子スロープスタイル）



村瀬心椛選手（スノーボード女子ビッグエア）AFP=時事



三浦璃来選手（左）、木原龍一選手組（フィギュアスケートペア）



戸塚優斗選手（スノーボード男子ハーフパイプ）

2 銀メダル

3 銅メダル



堀島行真選手（フリースタイルスキー男子モーグル）



山田琉聖選手（スノーボード男子ハーフパイプ）AFP=時事



村瀬心椛選手（スノーボード女子スロープスタイル）



丸山希選手（ノルディックスキー・ジャンプ女子個人ノーマルヒル）EPA=時事



二階堂蓮選手（ノルディックスキー・ジャンプ男子個人ノーマルヒル）



日本チーム（ノルディックスキー・ジャンプ混合団体）



小野光希選手（スノーボード女子ハーフパイプ）



鍵山優真選手（フィギュアスケート男子）



長谷川帝勝選手（スノーボード男子スロープスタイル）AFP=時事



木俣椋真選手（スノーボード男子ビッグエア）



二階堂蓮選手（ノルディックスキー・ジャンプ男子個人ラージヒル）



坂本花織選手（フィギュアスケート女子）



堀島行真選手（フリースタイルスキー男子モーグル）



日本チーム（フィギュアスケート団体）

次回大会は フランス・アルプス地方

2030年に行われるフランス・アルプス地方での次回冬季五輪も分散型での実施が決まっている。スピードスケートはイタリアかオランダでの国外開催とする方針。分散開催という新たな形を示したことはミラノ・コルティナ五輪の最大のレガシーとなった。今大会を分岐点に、冬季五輪の今後の開催地や日本の都市を含めた将来の開催候補地に影響を与えるのは間違いない。

障がいのある選手が参加するミラノ・コルティナ冬季パラリンピックは6日から15日まで開かれる。



ノルディックスキー・ジャンプ男子個人ラージヒル、二階堂蓮選手の1回目の飛躍

